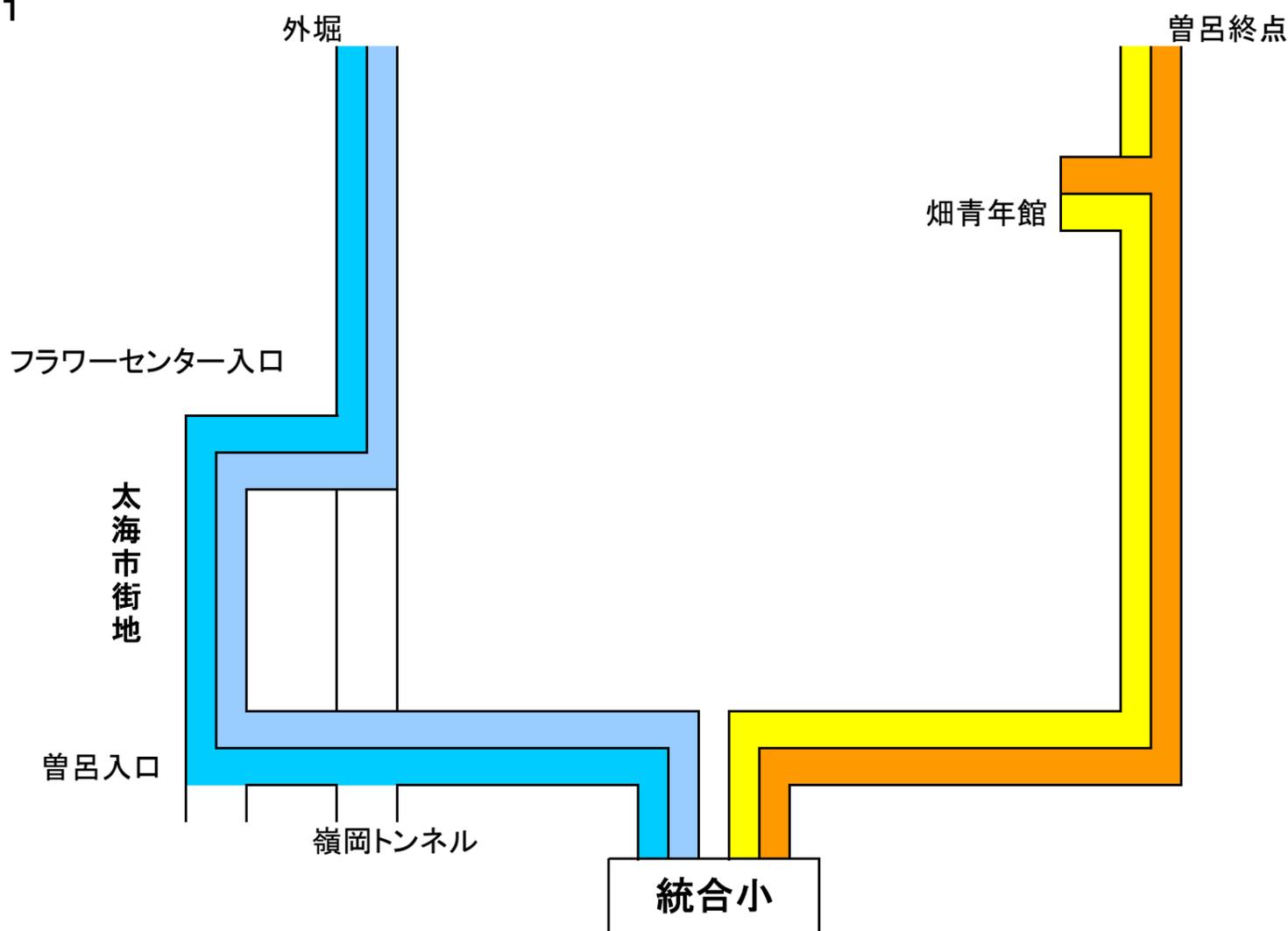


通学方法検討資料

(登校時) 江見・太海方面
素案1

曾呂方面



片道20分を見込む
(戻りはバス停に停車しないため10分で計算)

- ※貸し切りバス1台で2往復
- ①外堀6:55 → 統合小7:15
 - ②外堀7:30 → 統合小7:50
- (課題、利点等)
- ・添乗員の確保が1名でよい
 - ・学校の開場時間より早くに到着する
 - ・1便目の時間が早いため家庭に負担
 - ・太海地区児童が座れない
 - ・太海公民館側の児童の乗車場所

- ※貸し切りバス2台で2往復
- ①外堀7:00 → 統合小7:20
 - ②外堀7:30 → 統合小7:50
- (課題、利点等)
- ・添乗員が2名必要
 - ・1便目の時間が7時台となり家庭の負担が少なくなる
 - ・太海地区児童が座れない
 - ・太海公民館側の児童の乗車場所

その他検討が必要な項目

- バス通学範囲の設定 → 長狭地区では2km以遠
- 曾呂入口バス停1.6km?
- 太海公民館バス停2km?
- 一本松バス停2km?

片道20分を見込む
(戻りはバス停に停車しないため10分で計算)

- ※貸し切りバス1台で2往復
- ①曾呂終点6:55 → 統合小7:15
 - ②曾呂終点7:30 → 統合小7:50
- (課題、利点等)
- ・添乗員の確保が1名でよい
 - ・学校の開場時間より早くに到着する
 - ・1便目の時間が早いため家庭に負担

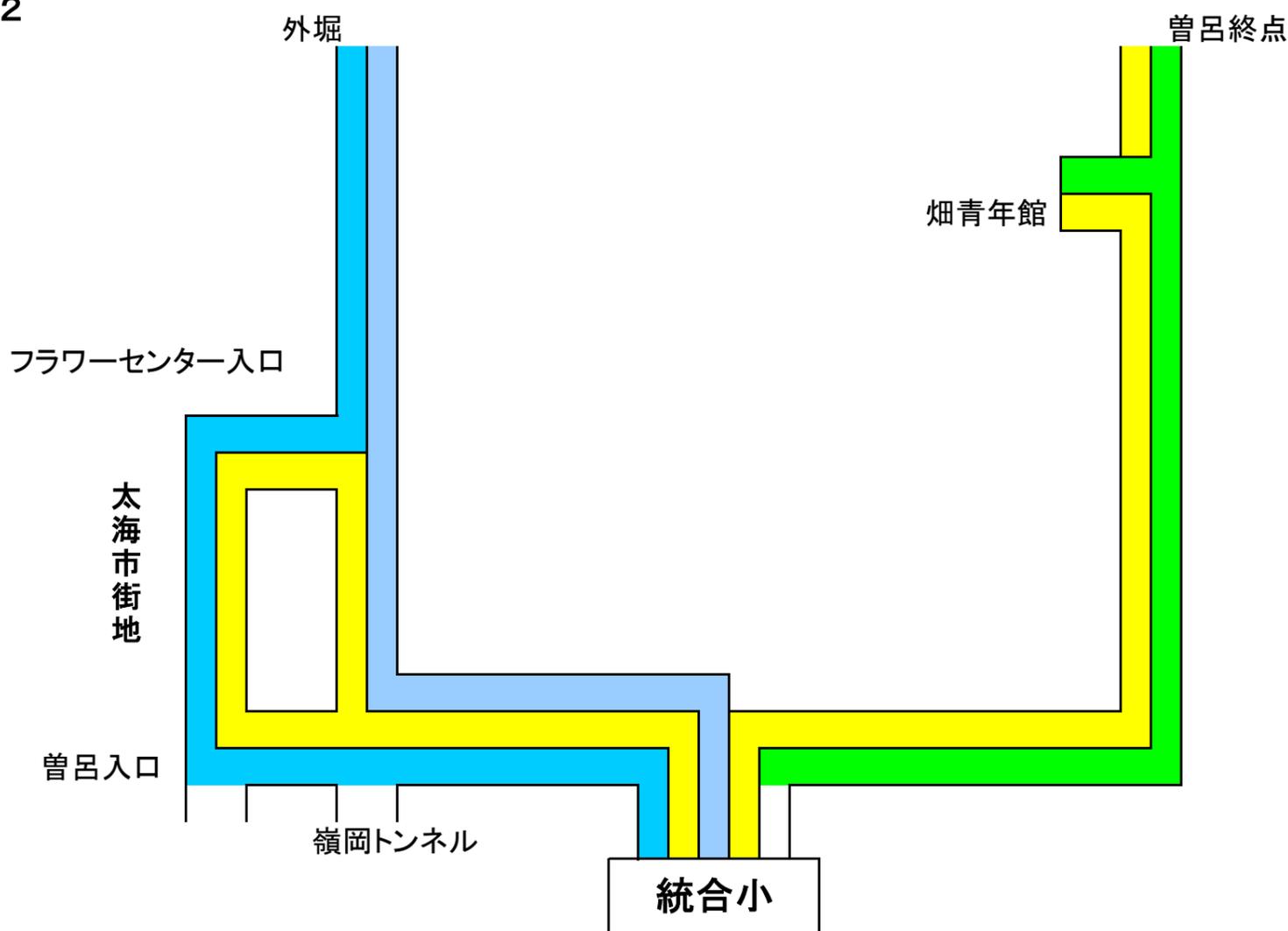
- ※貸し切りバス2台で2往復
- ①曾呂終点7:00 → 統合小7:20
 - ②曾呂終点7:30 → 統合小7:50
- (課題、利点等)
- ・添乗員が2名必要
 - ・1便目の時間が7時台となり家庭の負担が少なくなる

※下校便については授業、行事等の時間に応じて2便出発(案1のルート)
時間により曾呂方面はコミバスの活用も検討
現在旧江見中下のバス停14:18発の便あり

通学方法検討資料

(登校時) 江見・太海方面
素案2

曾呂方面



片道20分を見込む
(2便目は太海市街地に寄らないため15分で計算)

片道20分を見込む

※貸し切りバス1台で2往復
①外堀6:55 → 統合小7:15
②外堀7:30 → 統合小7:45
(課題、利点等)
・添乗員の確保が1名でよい
・学校の開場時間より早くに到着する
・1便目の時間が早いため家庭に負担

※2台のうち1台にコミバスを活用した場合
①曾呂終点7:00 → 統合小7:20
②曾呂終点7:20 → 統合小7:39(コミバス)
(課題、利点等)
・添乗員が2名必要
・1便目の時間が7時台となり家庭の負担が少なくなる
・コミバスの経路を変更することが可能か(学校への乗り入れ、時刻表の変更が伴う)

※貸し切りバス2台で2往復
①外堀7:00 → 統合小7:20
②外堀7:30 → 統合小7:45
(課題、利点等)
・添乗員が2名必要
・1便目の時間が7時台となり家庭の負担が少なくなる

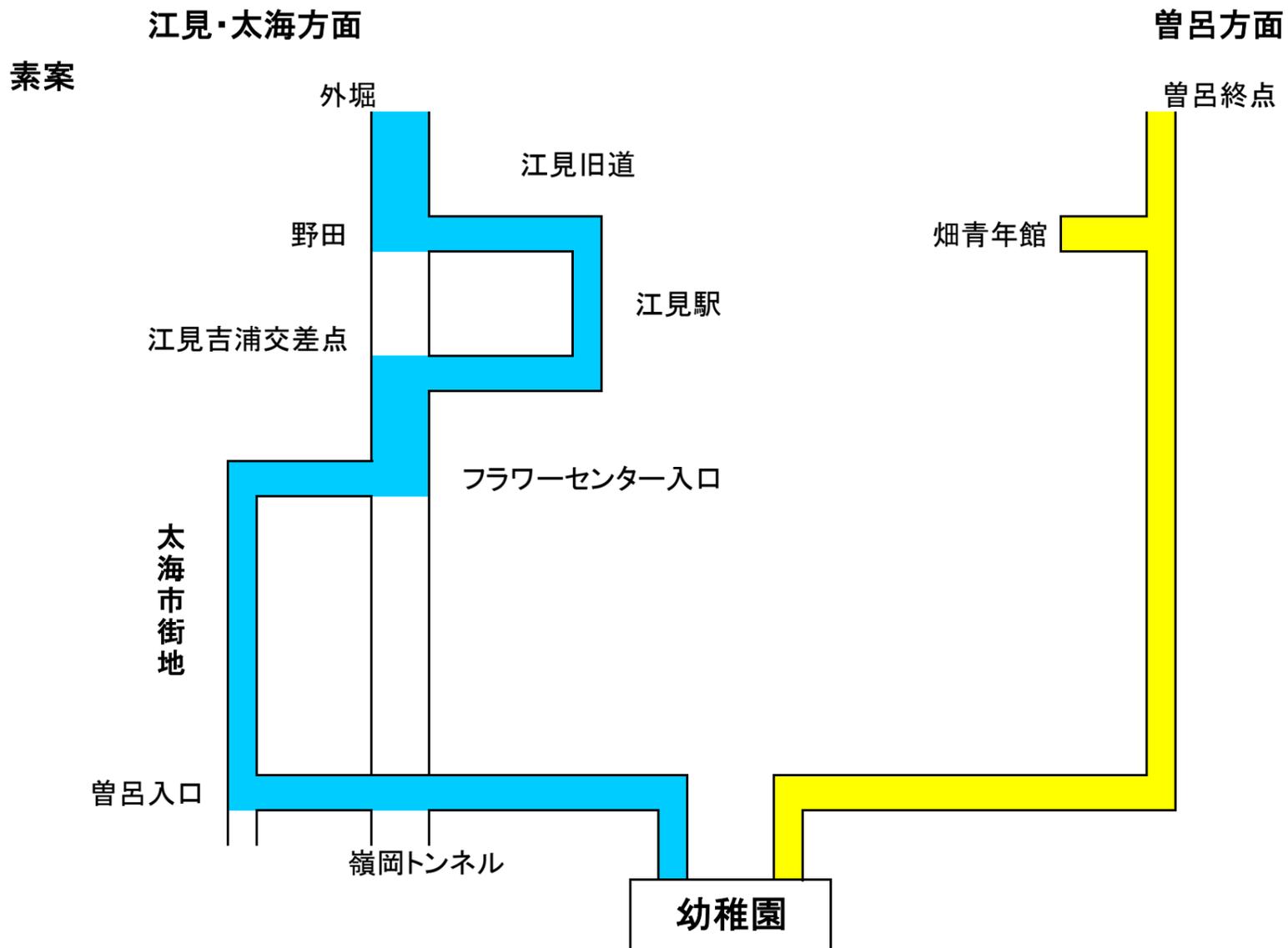
※1便が統合小学校で曾呂地区児童を降車させた後に太海地区市街地を回る案
①統合小学校降車後
→ フラワーセンター入口 → 太海市街地
→ 曾呂入口 → 統合小7:35
(課題、利点等)
・太海地区児童が座ることができる
・江見地区2便目の時間を短縮できる

その他検討が必要な項目

- バス通学範囲の設定 → 長狭地区では2km以遠
曾呂入口バス停1.6km?
太海公民館バス停2km?
一本松バス停2km?

※下校便については授業、行事等の時間に応じて2便出発(案1のルート)
時間により曾呂方面はコミバスの活用も検討
現在旧江見中下のバス停14:18発の便あり

通園方法検討資料



片道30分を見込む
(江見の旧道を通るためマイクロバス)

登園時※1便運行
 ①外堀8:20 → 野田バス停 → 江見駅
 → 江見吉浦交差点 → 太海市街地
 → 曾呂入口 → 幼稚園 8:50
 (課題、利点等)
 ・江見旧道沿いのバス停選定
 ・江見旧道沿線の地元協力が必要
 (路上駐車、すれ違い対策)

降園時※1便運行
 ①幼稚園14:15 → 曾呂入口 →
 太海市街地 → 江見吉浦交差点 →
 江見駅 → 野田バス停 → 外堀14:45
 (課題、利点等)

片道20分を見込む

登園時※1便運行
 ①曾呂終点8:20 → 幼稚園8:40
 (課題、利点等)

降園時※1便運行
 ①幼稚園14:15 → 曾呂終点14:35
 (課題、利点等)
 ・コミバスの活用検討
 (現在旧江見中学校下のバス停発14:18の便あり)
 ・コミバスの経路を変更することができるか
 (幼稚園へ乗り入れ、時刻表の変更が伴う)